

経済建設常任委員会研修報告

経済建設常任委員会は、11月12日は山梨県都留市において「市民協働による小水力発電について」また翌13日には北杜市で「北杜サイト太陽光発電所」と「村山六ヶ村堰水力発電所」の視察研修を行いました。その概要について報告いたします。

リニアモーターカー実験線の拠点基地があることで知られる都留市は、環境省「21世紀環境共生型住宅モデル事業整備による建設促進事業」において市民協働によりコンセプトを決定した「小水力発電のまちエコハウス」とともに都留市の特性を活かしたエコライフの普及啓発に取り組んでいます。その拠点である都留市エコハウスで担当者から、小水力発電とエコライフについての研修を行いました。その主な内容は、市庁舎前を流れる家中川に発電能力20キロワットを有する直径6メートルの木製水車（元気くん一号）をNEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の新技术の導入事業として全国に先駆けて実施したことやエコライフ推進のために「アクアバレーつる」構想の策定や豊かな環境を守り育て後世に継承し、健康的で環境の持続性を大切にする市民のライフスタイル確立と地域産業の振興に繋げる「エコロジカル・バランスタウン」を目指しているとのことでした。研修後は家中川小水力市民発電所と植物栽培設備展示施設の現地視察を行いました。

北杜市においては、NEDOの委託事業として国家プロジェクトである大規模電力供給用発電系統安定化等実証研究施設の「北杜サイト太陽光発電所」と「村山六ヶ村堰水力発電所」の視察研修を行いました。この度の研修で得た知識を活かし、本市の自然環境に適した太陽光発電や再生可能エネルギー対策等について考察したいと考えています。

経済建設常任委員会 委員長 久保居光一郎



都留市の木製水車「元気くん1号」